

発行 富山県医労連書記局 〒931-8313 富山市壺田町 1-1-8 Tel & FAX 076-441-7360
 E-MAIL toyakenirouren@dream.ocn.ne.jp

5/12
 看護の日

看護労働実態調査記者発表



富山県医労連は、ナイチンゲールの誕生日5月12日の看護の日に、2013年9月～10月に実施した県内691名の看護職員の看護労働実態調査の記者発表を行いました。記者にもっとも注意を引いたのは、切迫流産が全体の1/3である点でした。NHKなどから引き続きドキュメンタリー的な取材を申し込むかもしれないので協力をお願いしました。記者会見は大浦委員長は、「運動の結果、厚生労働省から5局長通知・6局長通知等雇用の質の改善を求める通知がだされた。しかし現場は患者さんの高齢化・認知症の方が増え、人手はさらに足りなくなっている。夜勤改善・大幅増員は不可欠と訴えました」北陸中日新聞は、左の記事を掲載した翌日14日に、6月8日開催のノーリフトセミナーの案内も掲載。その日「パート看護師として働いています。調査記事も見ました。是非セミナーに参加したい」と連絡がありました。

看護職員 7割超「辞めたい」

県内の看護職員六百九十一人のうち、「仕事を辞めたい」と回答した看護職員が七割超に達していたことが、県医療労働組合連合会（県医労連）の労働実態調査で分かった。県医労連は、背景に人手不足による医療現場の過酷な労働環境を挙げ、大幅な増員などを求めている。

県医労連が労働実態調査

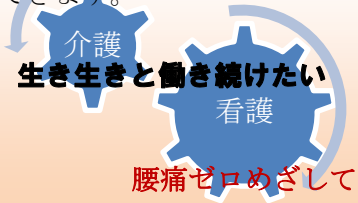
九～十一月に全国の看護職員（看護師、保健師、二アミスをした経験者や助産師など）三万二千三百七十二人に文書で調査した。県内は、看護職員「慢性的な人手不足による全体の約3%にあたる六人の医療現場の忙しさ」を百九十一人から回答を得た。「辞めたい」と回答した看護職員は75.0%、八八年の調査開始以来過去で、全国平均74.2%と去最高を記録。「腰痛」はほぼ同じ。その理由としては45.2%と約半数を占めて「人手不足」と答えた。人は54.6%で、全国平均に比べて10%以上回った女性職員六十五人のうち、夜勤免除を受けていないことなども影響して、二十五人が切迫流産をしていたことも分かった。

健康状態には「慢性疲労」が79.9%で、一九九〇年四月以降に妊娠した女性職員六十五人のうち、夜勤免除を受けていないことなども影響して、二十五人が切迫流産をしていたことも分かった。

← 5月13日北陸中日新聞

その他、富山新聞・北日本新聞・毎日新聞に記事が掲載されました。

看護・介護に携わる方はどなたでも参加できます。



6月8日(日) ノーリフト実践セミナー開催迫る！

- 講師： ノーリフト協会代表 保田淳子氏
- 時間 9:30～13:00
- サンフォルテ303・304
- 参加費 1,000円 (昼食資料代)

組合未加入の施設から5月22日時点で21名の申し込みが来ています。まだ間に合います！

裏面有

5月15日、医療介護総合法案： 全野党反対・異論続出なのに 委員会強行採決・衆議院通過！

19本もの法律の改定を含んだこの法案、一括審議にする事自体乱暴なやり方です。介護分野の改悪の一つである要支援の保険はずしに關しては、参考人質疑や地方公聴会で、「介護難民を作り出す」「市町村ごとに差が出る」などの批判や懸念が続出。210自治体から反対の決議も上がっています。政府は「必要な人は専門的サービスが受けられる」と弁解してきましたが、質疑の中で受けられない事が浮き彫りになりました。

介護事業所訪問行動から 切実な声・声・こえ…



富山県医労連ではこの間、「介護の改悪に反対する声を集めよう！、セミナーへの参加や医労連共済の魅力を訴え組織を大きくしよう」と意思統一し、介護事業所への働きかけを強めてきました。訪問行動の結果は、38件訪問・30件対話・責任者との対話は14件・介護改悪反対の団体署名は8件でした。中には訪問後1か月経過し、ちょうど総合法案が衆議院を通過した直後に届いたものもありました。訪問の中では以下の声が寄せられました。「本来は国がやることを私らがやっている」「生活保護までいかないうちの低年金の人の入所は施設の持ち出しになる」「介護の質が悪いと言われるのは心外、国からの補助をもっと多くしてほしい」「処遇改善は切実」



全国の仲間と国会包囲

医療・介護総合法案 何としても廃止を！

4月24日の「輝け！いのち」行動は、全国から5000人を超える人が参加し大きく成功。富山県医労連からは、富厚労から3人、とやま虹の会労組1人、民医労から4人の計7人が参加しました。

オバマ大統領来日で国会請願デモが不許可となり、大幅に予定変更せざるを得ませんでした。しかし、政府への怒りが勝り、医療・社会保障をまもれと大きな声で国会を包囲しました！



井上参議院議員：紹介議員へ



とやま虹の会・民医労のメンバーは集会前に7人の富山県選出国會議員（自民：田畑・宮越・橘・野上・堂故、社民：又市、共産：井上）へ要請行動を行いました。

社会保障の公的責任を放棄し、個人の責任に変える「社会保障制度改革推進法」を廃止、消費税の増税ではなく、大企業や富裕層に応分の負担を求める事が必要な財源を確保してくださいと訴えました。対話の中で「お年寄りと現役世代と比べた時、もっとお年寄りに負担を」とか「国民皆保険があるのは日本くらいじゃない？」などという秘書の方もおられました。「世代間で対立するのではなく、全体の負担が軽くなるようにすべきでは」「日本は国民皆保険というけれど、世界の中で日本ほど窓口負担が多い国はないです」と訴えてきました。参議院の井上哲議員が紹介議員になってくれました。